

事業報告書

9月NRST

事業名		9月NRST		事業主体	事業NO	審判員育成強化事業
日時	2021年9月11日(土) 19:00~21:00			会場	Web会議	
責任者	浦川 昌代	補助者	三ツ溝 勝之・相馬 博之		参加数	34名
講師	菊次 勉氏・山口 茂久氏・酒井 岳大氏					
参加者 (敬称略)	岩永、上野、内田、川原、北村、草場、黒澤、酒井、原田啓、本山、宮田、今富、兼俣、納屋、松崎、入江、浦川、岡田、小川、菊次、杉町、相馬、高月、名切卓、名切正、橋本、原田雄、福田、松田、森田、山口茂、山崎、山下、三ツ溝					
テーマ						
内容	<p>(進行)浦川</p> <p>19:00~ 挨拶[小川委員長]……METHODをバイブルによりいいものに創り上げ、豊かな人生に。</p> <p>19:04~19:24 前座⑨「キクさんのいらん世話シリーズ」[菊次氏]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NRTCコンセプト・目標・指針、NAGASAKI PRINCIPLE、研修の高度化…等々、脳に刻み込んで。 ・心のトレーニング「論語」(孔子)『之を知る者は之を好むに如かず、之を好む者は之を楽しむに如かず』物事を自分のものにするためには楽しめなさいかん。『子曰く「学びて思わざれば則ち罔し。思いて学ばざれば則ち殆し」』知識を身につけると共に自分で考える、両方が大切。うちの主役は強化審判員。主役自ら、そのあり方や立ち位置をもっと深く考えてほしい。 <p>19:30~20:10 講座24 競技規則⑥「第1条 競技のフィールド」[山口氏]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ピッチ」は主にイギリス英語で使われ、「フィールド」はアメリカやカナダ英語で使われる。サッカーのフィールドの大きさの歴史。実は陸上競技場や野球場の広さとも関係がある。フィールドのマーキングが正しいという根拠。ゴールポスト~ゴールエリアの角~コーナーエリアの角が一直線。ゴールエリアのサイドライン~センターサークルの端~相対するゴールエリアのサイドラインがほぼ一直線。ゴールエリアとペナルティーエリアのラインの真ん中にペナルティーマーク…等。 ※次回アカデミー宿題:①足を踏み入れてセーフなのは、ハーフウェーラインの (1)手前 (2)真ん中 (3)ライン上の端 どれか? ②ペナルティーマークはなぜ22cmなのか? <p>20:15~20:57 講座25 語学⑤「English Expressions」[酒井氏]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港の1級審判員Fran氏と酒井氏とのメールのやりとりを使った、英語表現の学習。日本語でも英語でもいかにわかりやすくシンプルに伝えるかがポイント。語学を身につけるにはとにかく口にする(表現すること)に躊躇しないこと。 <p>20:57~21:04 閉会行事 ・[総括]山口GM:高校の教科書に「機械費用」というのがある。これは、あるものを選択するときに、選ばなかったゆえに失った費用のこと。講座に参加して得た収益と参加しなかった損失とどちらが大きいのか? 大切なのは、参加する方が講座から何を見出すか、その見出したものをいかに他の面に広げていくことができるか、ということ。参加者が価値を見出していくことが最も重要。変化していく世の中で、一人一人がいかにアップデートできるか。「一人一人が講座を持つ」という考え方があっていいのではないか。</p> <p>[挨拶]原田副委員長:長崎県サッカー協会のためにみんなでかたまっていけたらいいですね。</p>					
所感	<p>孔子の言葉は僕も大好きで気に入ったものをよく生徒に教えていたものです。中でも「過ちて改めざる、是を過ち」というのは間違いや失敗を恐れてはいけない。失敗してもいいからどんどん挑戦しようと生徒を叱咤激励するのによく使ってきました。学びもそうですね。学んで自分なりに考える。そこにより大きな価値も生まれるのですね。今回も多くの学びの機会をいただき感謝申し上げます。</p>					
	文責	三ツ溝 勝之		2021/9/12		